

2021年6月9日

報道関係者各位

慶應義塾大学先端生命科学研究所

慶大先端生命研・早大OI機構/早稲田ビジネススクール・損保ジャパン イノベーション創出人材育成を目指した共同研究を開始

慶應義塾大学先端生命科学研究所は、早稲田大学および損害保険ジャパン株式会社と、鶴岡モデルに基づくイノベータ人材の育成プログラム開発にむけて共同研究契約を結びました。

慶應義塾大学先端生命科学研究所（山形県鶴岡市、所長 富田勝、以下「慶大先端生命研」）と早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構（OI 機構）「科学技術と新事業創造リサーチ・ファクトリー」（担当教員 牧兼充、以下「早大牧ファクトリー」）、損害保険ジャパン株式会社（東京都新宿区、取締役社長 西澤敬二、以下「損保ジャパン」）は、鶴岡モデルに基づくイノベータ人材育成プログラムの開発にむけた調査・研究を行うことを目的とし、共同研究契約を締結しました。

1. 背景

慶大先端生命研と損保ジャパンは2018年より包括連携協定を締結し、山形県鶴岡市でバイオとビジネスを融合した企業イノベータ人材の育成に取り組んでいます。損保ジャパンは慶大先端生命研内に「ビジネスラボ鶴岡」を設置し、人材育成を目的に現在4名の社員を派遣しています。この取組みは短期的な視野での商業的成功やビジネスパートナーを目指すのではなく、双方が20年後の社会変革を見据えて共に向かうことを理念としており、包括連携協定はその実現の主体となる人材を育成するための基盤作りと位置づけ進めてきました。本取組みを更に加速させるため早大牧ファクトリーも加わり三者で共同研究を開始することになりました。

早大牧ファクトリーは、早稲田大学ビジネススクールにおける研究・教育活動を基盤に、社会科学の知見を用いた「イノベーション創出手法」やイノベータ人材の育成手法に関する研究・開発を行なっています。これらの成果について、企業との共同研究を実施することにより、企業の組織、人事、戦略、人材育成、評価手法における社会実装を促進します。

2. 主な取組み内容

鶴岡の取組みは、日本における「サイエンス・ビジネス」や「地方創生」の成功例として注目されています。今回、慶大先端生命研と損保ジャパンの連携に新たに早大牧ファクトリーが加わることで、鶴岡の多様な取組みに関する知見の一般化・理論化・体系化を試みます。加えて、ビジネススクールの持つケース・メソッドなどの手法を用いて、鶴岡の先端的な取組みのケース教材化や先進的なイノベータ人材育成法を、ワークショップとして企業等に移植可能な形にまとめることを試みます。更に、鶴岡を「地方

創生」の実証実験の場としたフィールド・メソッドを早稲田大学ビジネススクールの学生が開発することにより、三者の人材の交流を促進し、多様性のあるイノベータ人材育成コミュニティの創出を目指します。

本共同研究における研究代表者は以下のとおりです。

- 損害保険ジャパン株式会社 ビジネスデザイン戦略部 ビジネスラボ鶴岡 課長代理 高木 慶太
- 慶應義塾大学 先端生命科学研究所 教授 富田 勝
- 早稲田大学ビジネススクール 准教授 牧 兼充

3. 今後について

上記の連携のもと、三者によるプログラムの開発が、既存の概念を超えた新しい人材の育成に繋がることを期待します。また本共同研究によってアカデミア、ビジネス、ローカルが協同して始めた企業イノベータ人材育成の取組みを加速させ、新たな人材育成のモデルケースになることを目指しています。

本発表資料のお問い合わせ先

●慶應義塾大学先端生命科学研究所 渉外担当

TEL 0235-29-0802 FAX 0235-29-0809

Email office@ttck.keio.ac.jp

<http://www.iab.keio.ac.jp/>